

DAVIDSON BERQUIST JACKSON + GOWDEY

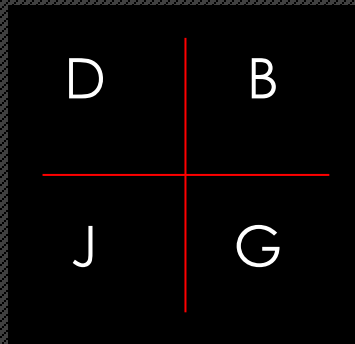
Intellectual Property | Complex Litigation | Patent Law

D

B

J

G



DAVIDSON BERQUIST JACKSON + GOWDEY
Intellectual Property | Complex Litigation | Patent Law

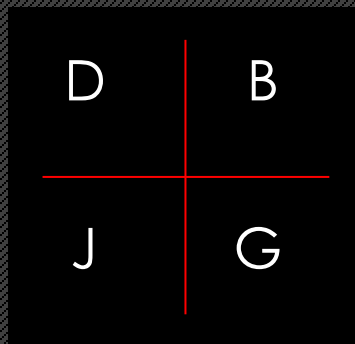
私たちの目標は、すべての知的財産のニーズに対応する、優れた費用対効果の高いソリューションを提供することです。知的財産法のあらゆる分野で経験を積んだ Davidson Berquist Jackson + Gowdey LLP は、複雑な特許訴訟と世界中の知的財産権の取得におけるスキルを有することで知られる会社です。私たちの誇りは、コーポレートカウンセル誌により、フォーチュン500の2013年知的財産法律事務所に選定されたことです。この選定により、Davidson Berquistは「フォーチュン500に卓越した業務を提供する専門グループ」と認識されております。

私たちは、貴社と協業して、貴社のビジネス目標を保護するための最善の法務的戦略を開発し、および実施します。また、私たちは積極的にかつ倫理的に、さらに、貴社のビジネス目標の達成に焦点を合わせて種々の表記法を提供できます。

この概要では、私たちの弁護士、私たちの価値観、そして私たちのビジネスの手法を紹介します。

詳細については、
www.davidsonberquist.comをご覧ください。





何故Davidson Berquistなのか？ (我々は“よろず”法律事務所ではありません)

結果

訴訟ケースを担当する大手法律事務所の大規模チームと対峙した場合でも、私たちは非常に高い勝率を有しております。交渉の席でも法廷でも、Davidson Berquistは卓越した結果をもたらします。

経験豊富な法廷弁護士

私たちの弁護士は有資格者です。彼らは大手一流企業のパートナーであり、知的財産法のあらゆる側面に精通しています。現在、Davidson Berquistにおいて、彼らはもてる知識を種々多様な企業で生かせることができます。

顧客志向の構造

「違い」とは、弁護士が独自のケースを選択し、それらに焦点を当てることを意味します。これは、柔軟性、経験豊富なパートナーからの個人的な配慮、そして終結に見通しがつかないケースが予見される場合にビジネスから距離を置くという保証につながります。

コスト削減

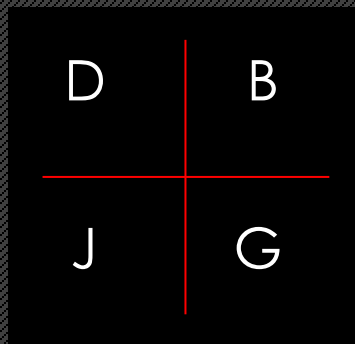
顧客は、私たちが有能で成功していることから、Davidson Berquistを選定しています。その過程で支出を節約できることは付加できるメリットです。実際、私たちの費用は、大規模法律事務所よりも20～25パーセント少なくなっています。理由は単純です。経験が効率を生むからです。また、高効

率性と経費抑制を組み合わせることで、間接費を削減できます。私たちのパートナーが仕事の大部分を行います。誰も仕事で学んだり、パートナーが何を望んでいるのかを推測したりしていません。何を探しているのか、何をやる必要があるのかを正確に把握しているため、効率的に作業できます。

フルサービス

Davidson Berquistは、フルサービスの知的財産法実務を提供します。他の小規模法律事務所とは異なり、世界レベルの知的財産権の調達とともに、特許訴訟は私たちのポートフォリオのかなりの部分を占めています。さらに、コンサルティング、特許戦略、特許意見、再審査、米国特許商標庁(USPTO)の付与後レビュー、および当事者系レビュー手続きを提供できます。当社は企業合併のためのデューデリジェンスサービスを提供し、数十億ドル規模の買収についてクライアントに助言してきました。





専門性を生かせる分野 (法律事務所の規模に不相応で広範な知識群)

特許訴訟

すべてのDavidson Berquist弁護士は、重要な裁判経験を持つ経験豊富な訴訟担当者です。彼らは、コンピューターネットワークから携帯電話技術、自動販売機に至るまで、多種多様な業界にわたる侵害訴訟において、クライアント(特許権者と被告の両方)を代表してきました。多くの場合、これらのケースには、暗号化や全地球測位(GPS)テクノロジーなどの非常に複雑なテクノロジーが含まれます。当社は、複数の被告の訴訟において原告および被告を代理し、米国全土の連邦裁判所で訴訟を起こしました。

特許の訴追とカウンセリング

私たちの目標は、クライアントが発明、技術、および特許資産の価値を最大化するのに役立つ最善の法的戦略を決定することです。Davidson Berquistの弁護士は、特許出願、再審査と再発行、上訴など、USPTOとの業務のあらゆる側面を処理します。Leahy-Smith America Invents Act(AIA)の2011年の通過は、この重要な分野における熟練した法的代理人の必要性を浮き彫りにしています。Davidson Berquistは、USPTOのPatent Trial and Appeal Board(PTAB)での当事者系レビューに特に長けており、DocketNavigatorによってPTABの2017年のトップ法律事務所として認められています。

付与後の手続き

Davidson Berquist Jackson + Gowdey LLPは、訴訟の補助または代替として、付与された特許に関する信頼できる助言を提供します。Davidson Berquist Jackson + Gowdey LLPは、米国特許商標庁(「USPTO」)の特許審判委員会(「PTAB」)が付与された特許に異議を申し立てる前に、当事

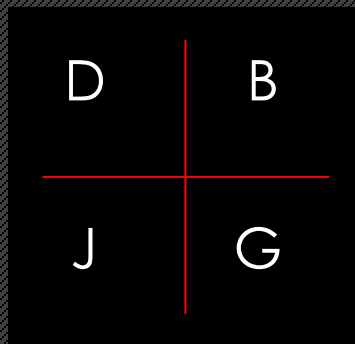
者系レビュー(「IPR」)の請願書を定期的に作成し、そのような異議申し立てを防御する特許権者の対応を準備します。Davidson Berquist Jackson + Gowdey LLPは、付与後の手続きを処理するために、あらゆる規模の最も頻繁に呼び出される法律事務所の1つとしてランク付けされています。私たちの経験は、PTABの前の課題で終わるのではなく、USPTOでの再審査と再発行の手続きも処理します。

コンピュータサイエンス

Davidson Berquistが提供するレベルのコンピュータサイエンスの専門知識を誇ることができる企業は、規模を問わずほとんどありません。11人のパートナーのうち、4人はこの高度に専門化された分野で学位を取得しています。この特筆される知識の深さにより、ソフトウェア、暗号化、コンピューターハードウェア、ビジネス手法などの複雑なテクノロジーに関連する事例に取り組むことができます。

エンジニアリング

同様に、Davidson Berquistのエンジニアリングの専門知識は、会社の規模に反して厚みを有しています。電気、機械、化学工学に強みを持つ当社は、データルーティングから正確な位置特定まで、テクノロジーベースの訴訟を処理するのに非常に適しています。



明快にしたい誤解されやすい考え方 (知財法律事務所の3つの間違った真実)

大きいことは良いこと

私たちの実績と関係は別の見識を与えます。私たちは世界最大の法律事務所に勝ち、フォーチュン100企業と日常的に協力関係にあります。実際、私たちの長年のクライアントの多くは、私たちを良好な関係にある秘密だと考えています。彼らは、法廷に関して言えば、弁護士数十人が反対側のテーブルにいて、Davidson Berquistのパートナーのうち3人だけが私たちのテーブルに座っているかどうかは問題ではないことを知っています。一度に話すことができるのは、1人だけです。

毎時課金は最高の料金体系です

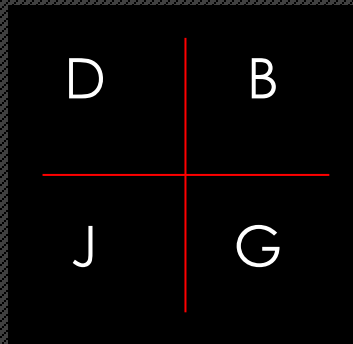
時により見方は変わります。私たちのクライアントのほとんどは時間単位の料金構造を望んでいますが、Davidson Berquistは、月単位、フラットプロジェクト料金、成功報酬または逆の費用、または上記の組み合わせを含む代替料金の設定も提供しています。私たちの柔軟性を表す例として、クライアントが要求する事実上あらゆる種類の支払い構造を設定する能力にあります。

私たちの自信の一部は、時間単位または代替料金ベースで作業しているかどうかにか

かわらず、請求書の記載が気に入らない場合は自分の好む名称を付けることができます。保証されています。

小規模企業は訴訟を起こさないでください

日毎私たちが務めていることではありませんが、同等の業績と成功を収めている多くの中小企業を見つけるのは難しいでしょう。私たちの弁護士は有能であり、事件のあらゆる側面に見識があり、クライアントの目的を達成することに尽力しているため、私たちはその務めを果たすことができます。



情報に基づいた意思決定を専門としています。

私たちのパートナーが企業の成功の可能性を最大化する意思決定を支援するために必要なすべての情報を提供します。

Jay Berquist
571.765.7702
jberquist@dbjg.com

Kimani Clark
571.765.7706
kclark@dbjg.com

Scott Davidson
571.765.7701
sdavidson@dbjg.com

Walter Davis
571.765.7709
wdavis@dbjg.com

Peter Gowdey
571.765.7704
pgowdey@dbjg.com

Wayne Helge
571.765.7708
whelge@dbjg.com

Eric Kirsch
US: 571.429.3616
Japan: 080.3246.8446
ekirsch@dbjg.com

Don Jackson
571.765.7703
djackson@dbjg.com

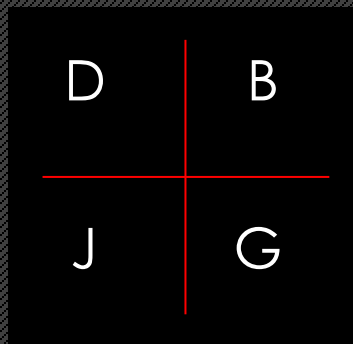
Greg Krauss
571.765.7707
gkrauss@dbjg.com

Aldo Noto
571.765.7736
anoto@dbjg.com

Joseph Piccolo
571.765.7715
jpicollo@dbjg.com

James Wilson
571.765.774
jwilson@dbjg.com

Alan Wright
571.765.7710
awright@dbjg.com



JAMES D. BERQUIST

Jay Berquistは、Davidson Berquistの創設パートナーの1人です。彼は多くの知的財産事件で主任弁護士を務めており、その多くはテクノロジーベースの訴訟でした。訴訟には、不公正な競争、反トラスト、および企業秘密の盗難の申し立てが含まれています。Jayは、クライアントの持つ主要な特許の業界全体に及ぼす侵害事例を成功裡に終結させました。彼はまた、クライアントに継続的にかなりのロイヤルティ収入を生み出す特許ライセンスプログラムを作成しました。

Jayは、特許訴訟と特許損害賠償をテーマに、さまざまなCLEセミナーで講演を行ってきました。彼は、光学センサー技術、コンピューターネットワークとデータスイッチ、自動販売機、セルラーネットワークとグローバルポジショニング、配電システムなど、さまざまな技術に精通しています。

学歴

法務博士、ミズーリ州-コロンビア大学ロースクール

学士、ミズーリ大学（機械工学）

関係団体と所属

コロンビア特別区

ミズーリ

バージニア

米国特許商標庁

連邦巡回控訴裁判所

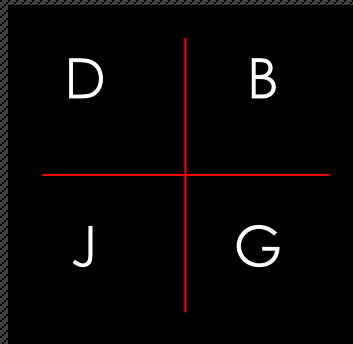
合衆国最高裁判所

過去所属の団体

パートナー、Nixon & Vanderhye

パートナー、Pillsbury, Madison & Sutro
(now Pillsbury Winthrop)

パートナー、Cushman, Darby &
Cushman (until merger with Pillsbury)



KIMANI CLARK

キマニ・クラークは、コンピューターとソフトウェアの特許法、特に特許訴訟、当事者系と付与後のレビュー、特許調査とコンサルティング、および特許訴追を専門としています。彼の経験には、訴訟前の特許戦略と交渉、大規模な特許研究の管理、侵害と妥当性の分析の実行、特許意見の準備、特許審査の管理と実行が含まれます。

彼の技術的熟練分野には、通常、ソフトウェア、コンピューター、ビジネス手法、電子工学、電気工学が含まれます。彼は、これらおよびその他の技術分野にまたがる特許および技術を扱ってきました。クラーク氏は、彼の特許実務において、世界の主要なコンピューターおよびソフトウェア会社のいくつかを代表してきました。

学歴

法務博士、スタンフォード大学

学士、マサチューセッツ工科大学(コンピューターサイエンスおよびエンジニアリング)

関係団体と所属

コロンビア特別区

メリーランド

バージニア

米国特許商標庁

アメリカ知的財産法協会

コロンビア特別区バー協会

メリーランド弁護士会

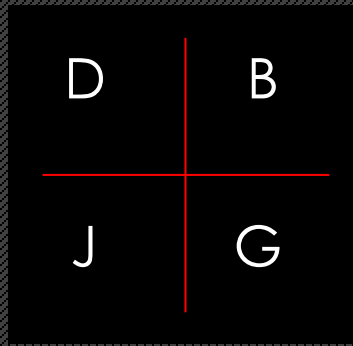
アメリカ法曹協会

スタンフォード法と技術協会

過去所属の団体

パートナー、Akin Gump Strauss Hauer & Feld

アソシエイト、Finnegan Henderson Farabow Garrett & Dunner



SCOTT DAVIDSON

2003年4月、スコット・デイビッドソンと3人のパートナーは、彼が知的財産会社の新しい組織形態のために開発したアイデアに基づいて、現在はDavidson Berquist Jackson & Gowdeyとして知られる会社を設立しました。スコットは当会社の創設者の社長です。

スコットは、回路、電気工学、コンピューターシステム、半導体、ソフトウェアなど、数多くの技術分野での経験があります。

彼は、知的財産に関する2冊の本 (Managing Intellectual PropertyとIntellectual Property for the Internet) を共著し、IEEE Potentials誌に記事を執筆し、知的財産に関する2冊の教科書 (米国特許実務 (韓国語)、および米国特許実務 (Cushman, Darby & Cushman)) の執筆に関与しました。また、彼はフロリダ大学工学部での講義に繰り返し招待されています。

学歴

法務博士 フロリダ大学

学士 (電気工学)、サウスフロリダ大学

関係団体と所属

コロンビア特別区

フロリダ

バージニア

米国特許商標庁

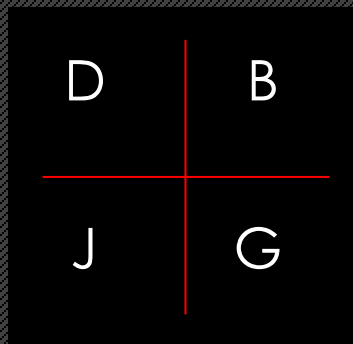
連邦巡回控訴裁判所

合衆国最高裁判所

過去所属の団体

ディレクター&トレジャラー、Nixon & Vanderhye、

パートナー、Cushman, Darby & Cushman



WALTER D. DAVIS, JR.

Walter Davisは、Davidson Berquist Jackson & Gowdeyのパートナーです。Walterは、知的財産の専門家として20年以上の経験があり、その中には15年以上の法律事務所の経験と、米国特許商標庁(PTO)の特許審査官としての6年の経験があります。Walterの業務は、主に、特許、企業秘密、およびその他の知的財産訴訟、当事者系および付与後のレビュー、特許調査とコンサルティング、および特許明細の記述及び出願で構成されています。

彼は、さまざまな連邦地方裁判所や米国国際貿易委員会(ITC)を含む多くの裁判所での経験があります。彼の事例の代表的な技術には、スマートフォン、照明制御システム、家電製品、プロセッサ技術、ソフトウェア、液晶ディスプレイデバイス、プラズマディスプレイデバイス、半導体の設計と製造、医療画像システム、バッテリー充電器、コンピューターハードウェア技術、インターネット技術、電気通信、ビジネスメソッド、および医薬品、などがあります。

ウォルターの幅広い経験により、彼はクライアントにあらゆる種類の知的財産サービスを提供することができます。Walterは、知的財産訴訟の日常業務を管理し、訴訟戦略を策定しおよび実施した豊富な経験があります。ウォルターは、さまざまな技術分野において、数多くの特許明細の記述ならびに

出願実務の経験を有しております。

学歴

法務博士、ジョージワシントン大学
学士、コーネル大学(電気工学)

関係団体と所属

コロンビア特別区

バージニア

米国特許商標庁

コロンビア特別区の米国地方裁判所

全国弁護士会

アメリカ法曹協会

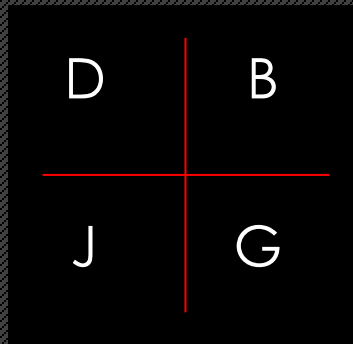
アメリカ知的財産法協会

防衛研究所

過去所属の団体

アソシエイト、Axinn Veltrop & Harkrider

アソシエイト、フィネガンヘンダーソンファラ
ボウギャレット&ダナー



PETER GOWDEY

Davidson Berquistに入社する前は、Peter Gowdeyは、国内外のクライアントのために知的財産法のあらゆる分野において実務経験を有しておりました。彼は、連邦裁判所制度の陪審の前段階での知的財産訴訟および国際貿易委員会での訴訟に豊富な経験を持っています。彼は最高裁判所で議論し、広範な上訴実務を行っています。彼はまた、知的財産戦略の策定、クライアントカウンセリング、知的財産監査の実施、知的財産権の評価、侵害および有効性分析の実行、特許意見の作成、特許出願の作成、特許審査、および発行後の再審査とレビューの取り組みにおいて豊富な経験を持っています。

彼は、さまざまな自動車部品、ポリウレタンフォーム、繊維製品およびプロセス、ソリッドステートデバイス、回路を含む制御システム、プラスチック成形、および製造プロセスを含むさまざまな技術分野での訴訟に関与しています。

彼は、Patent Resources Group (PRG) や Advanced Patent Application and Amendment Writing Workshopにおいて、米国、日本、ヨーロッパでの特許および特許訴訟の主題について講義を行ってきました。彼はまた、ジョージタウン大学国立法センターにおいて特許訴訟およびジョージワシントン大学での国際貿易についても講義しました。彼はまた、ジョージメイソン大学ロースクールの非常勤教授として、特許訴訟を教授しておりました。

学歴

法務博士、ユニオン大学のアルバニーロースクール

学士 クラークソン大学(機械工学)、

関係団体と所属

コロンビア特別区

ニューヨーク

ノースカロライナ州

バージニア

連邦巡回控訴裁判所

コロンビア特別区バー協会

アメリカ法曹協会

アメリカ知的財産法協会インターナショナル

工業所有権の保護協会

ワシントン弁理士協会元会長

過去所属の団体

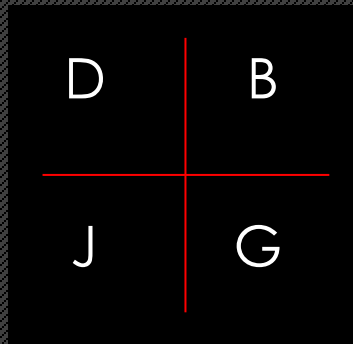
パートナー、Shook Hardy & Bacon

パートナー、Pillsbury Madison

パートナー、Cushman, Darby & Cushman

アソシエイトパテントカウンセラー Burlington Industries

特許審査官、Electrical arts, United States Patent and Trademark Office



WAYNE HELGE

経験豊富な弁理士であるWayne Helgeは、特許訴訟、特許および商標の訴訟、商事紛争の戦略の策定と実行に熟練しています。彼は、契約違反、特許および商標侵害訴訟、連邦レベルでの消費者プライバシー訴訟など、さまざまな知的財産関連の紛争で原告と被告の両方を代理してきました。彼の州の訴訟には、雇用訴訟、契約違反訴訟、および企業間の貸主・テナント紛争が含まれています。

2014年以来、ウェインはPTAB以前の特許付与後の手続きに傾注しており、100件を超えるIPRおよびCBMに、しばしば主任弁護士として登用されています。

彼の専門分野には、電気通信および電気通信規格、光ファイバーコーディングスキームおよびシステム、特にスマートフォンやタブレットなどのセルラーデバイス用のグラフィカルユーザーインターフェイス(GUI)、スマートフォンおよびタブレット用の拡張現実、半導体、発光ダイオード(LED)などがあります。、液晶ディスプレイ(LCD)パネルおよび有機LED(OLED)のディスプレイパネルおよび駆動回路、電力管理および電源システム、クラウドソーシング技術および広告を含むビジネス手法、機械システム、核、生物学、および放射線(NBC)保護、およびコード分割マルチアクセス(CDMA)拡散技術。

学歴

法務博士、ロジャーウィリアムズスクール；
修士、イリノイ大学理学部(土木工学)；
学士、イリノイ大学理学部(土木工学)；
米国沿岸警備隊アカデミー； 交換士官候補生、
米国空軍士官学校；

関係団体と所属

バージニア

バージニア州東部地区連邦地方裁判所

米国特許商標庁

連邦巡回控訴裁判所

合衆国最高裁判所

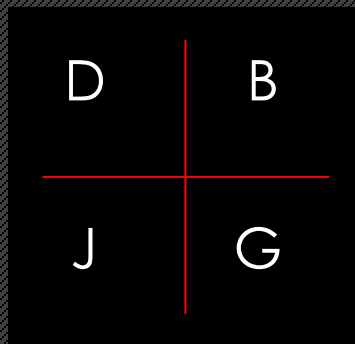
過去所属の団体

W.M. Helge Law, PLC

訴訟ディレクター、H.C. Park & Associates, PLC

過去所属の団体

Wayneは、ロードアイランド州から認可を受けた登録プロフェッショナルエンジニアです。彼はまた、米国沿岸警備隊で8年間エンジニアおよび士官を務めました。



DONALD L. JACKSON

Donald L. Jacksonは、Davidson Berquist Jackson & Gowdeyの創設パートナーです。彼の業務は、主に特許、商標、企業秘密関連の訴訟に焦点を当てています。彼は、電気通信、集積回路の設計と製造、コンピューターネットワークシステムと方法、光センシングシステム、精製血漿製品に関連するバイオテクノロジープロセス、アスファルト製造プロセスとデバイスなど、さまざまな技術を含む特許侵害訴訟に関与しました。彼の業務には、特許明細、特許出願、著作権、企業秘密技術のライセンス契約の起草、侵害、有効性、執行可能性についての特許分析も含まれます。

Donは、「陪審員が終わった後に解決すべきですか?」、特許ジャーナル(Aspen Publishers、2002年11月/12月)、の共著者でもあります。

学歴

法学博士、ジョージメイソン大学ロースクール

学士、テネシー大学(電気およびコンピュータ工学)

関係団体と所属

バージニア

バージニア州東部地区連邦地方裁判所

米国特許商標庁

第4巡回区控訴裁判所

連邦巡回控訴裁判所

合衆国最高裁判所

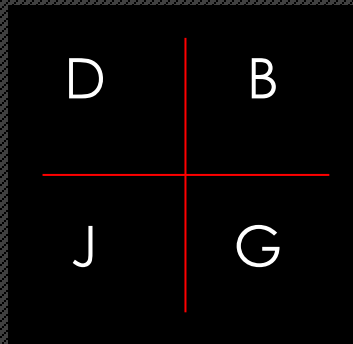
アメリカ法曹協会

連邦巡回弁護士会

アメリカ知的財産法協会

過去所属の団体

パートナー、Nixon & Vanderhye



ERIC D. KIRSCH

Ericは、多岐にわたる複雑な技術と、裁判官と陪審員に勝利を誘導する議論技術に精通している経験豊富な特許訴訟担当者です。たとえば、Ericは、GPS、電気通信、Biotech、および商標権侵害の訴訟において勝訴する実績を有しております。Ericは、地方裁判所および連邦巡回控訴裁判所で多数の訴訟事例を勝訴に導いております。

Ericの訴訟哲学は、助言の提供および法的戦略を提案する前に、クライアントのビジネス目標とテクノロジーを完全に理解することです。

Ericは2010年から日本に居住しており、最近日本での永住権を取得しました。

同社の東京オフィスのマネージングパートナーです。

学歴

法務博士、ピッツバーグ大学法学部

成績上位優秀者として表彰され、Law Reviewのコメント編集者として従事

学士、ジョンズホプキンス大学(電気工学)

関係団体と所属

ニューヨーク

ニューヨーク南部地区の米国地方裁判所

ニューヨーク東部地区の米国地方裁判所
ペンシルベニア州東部地区の米国地方裁判所。

アリゾナ地区の米国地方裁判所

米国特許商標庁

連邦巡回控訴裁判所

過去所属の団体

チーフIPカウンシル、株式会社ニコン。

パートナー、Cooper & Dunham LLC

アソシエイト、Fish & Neave

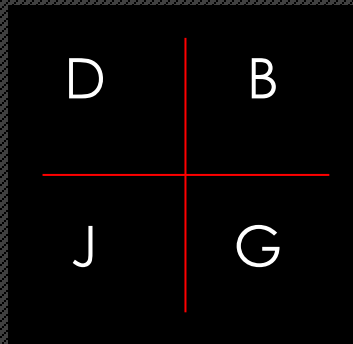
過去の経験

法科大学院在学以前、EricはBDM Corp.のソフトウェアを作成し、GEの宇宙部門の電子機器を設計しました。

法科大学院修了後、エリックはフィラデルフィア地方検事局の検察官を務めました。その間、非常に重い重大な訴訟事例に参画しておりました。

表彰

エリックは、2021年にIAMによって世界の300人の主要なIPストラテジストの1人に選出されています。



GREG KRAUSS

Greg Kraussは、Davidson Berquistのパートナーです。

Gregの業務は、米国地方裁判所での特許侵害訴訟、特許審判部での当事者および対象となるビジネス方法のレビュー、商標審判部、および商標審判部での商標異議申し立てに焦点を当てています。

Gregは1988年以来、複雑な科学的問題と複雑な法的問題を組み合わせた事案に焦点を当てた裁判弁護士を務めています。彼は、知的財産(コンピューターチップや医療機器を含む)、CERCLAに基づく環境責任、環境保険の適用範囲、有毒な不法行為の化学物質への暴露、および製薬規制の問題に関する訴訟に関与しました。Gregは、州、連邦、および行政裁判所で訴訟を試みました。彼はまた、略式判決の申立および却下の申立をもって、多数のクライアントとの訴訟を介さずに成果を達成しました。

学歴

法学博士、ワイドナー大学デラウェアロー
スクール

学士、ノートルダム大学(化学工学)

関係団体と所属

コロンビア特別区

メリーランド

ニュージャージー

ペンシルベニア(非アクティブ)

バージニア

連邦巡回控訴裁判所

第2巡回区控訴裁判所

第7巡回区控訴裁判所

コロンビア特別区の米国地方裁判所

メリーランド地区の米国地方裁判所

バージニア州東部地区連邦地方裁判所

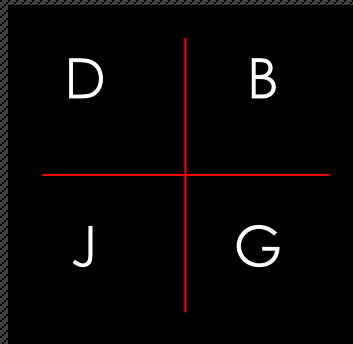
コロンビア特別区バー協会

過去所属の団体

メンバー、Gregory A. Krauss PLLC

パートナー、McDermott Will & Emery
LLP

パートナー、Carr Goodson Lee & Warner、
P.C



ALDO NOTO

パートナーであるAldo Notoは、争議事項に重点を置いて、特許、企業秘密、著作権、商標など、国内および国際的な知的財産権の分野に専念しています。彼は、ソフトウェア特許ポートフォリオ(開発、調達、販売、訴訟、ライセンス供与)の業界リーダーとして認められています。

Notoは、25年以上の大手法律事務所の経験を元にクライアントの知的財産問題の解決をもたらしています。彼の訴訟経験には、バージニア州東部地区、テキサス州東部地区、米国特許商標庁、米国国際貿易委員会、および連邦巡回控訴裁判所があります。さらに彼の業務範囲には、特許ポートフォリオの開発、管理と活用、ライセンス供与、技術契約、および特許性、実践の自由、侵害、および有効性に関する意見とアドバイスの提供が含まれます。また彼の業務経験には、PTABとTTABの起訴と手続きが含まれます。

彼の注力する業界は、エレクトロニクス、テレコム、デジタルメディア、インタラクティブテレビ、eコマース、コンピューター、ビジネス手法などが含まれます。彼のソフトウェア特許ポートフォリオの経験には、Comcastに販売されたDiscovery Communicationsのケーブルテレビポートフォリオ、Googleに対して主張されたDaniel EggerのSoftware Rights Archive (SRA) インターネットページ検索ポートフォリオ、Telequip (TQP) など、合計1億ドルの一連の成功した開発と収益化が含まれます。)暗号化ポートフォリオ、Bascom (DSS) ソーシャルメディアリンクポートフォリオ、Discovery Communicationsの電子書籍ポートフォリオ、およびStrikeforceの2要素認証ポートフォリオ。

2000年から現在まで、彼は特許法のCLEの大手プロバイダーであるPatent Resources Groupで「ソフトウェア特許」を教えてきました。2015年と2016年に、NotoはワシントンD.C.の「スーパー弁護士」として認められ、また、Intellectual Asset Management誌のIAM特許1000(2014-2015)で「世界をリードする特許実務家の1人」に選ばれました。彼は1985年から1990年まで米国沿岸警備隊の士官であり、公海での麻薬犯罪で逮捕さ

れました。

学歴

法学修士及び法学博士、ジョージワシントン大学(知的財産);

学士 ニューヨーク州立大学(数学とコンピューターサイエンス);

学士、米国沿岸警備隊アカデミー(電気工学);

関係団体と所属

バージニア

コロンビア特別区

米国特許商標庁

連邦巡回控訴裁判所

第4巡回区の米国控訴裁判所

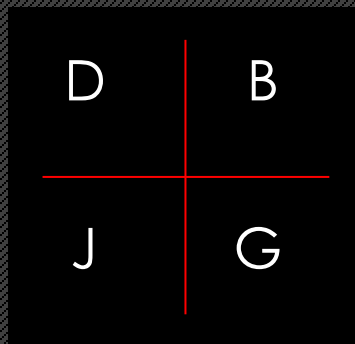
バージニア州東部地区連邦地方裁判所

過去所属の団体

Blank Rome, LLP;

Andrews Kurth Kenyon, LLP;

Dorsey & Whitney LLP;



JOSEPH G. PICCOLO

1985年、ジョー ピッコロはノートルダム大学を優秀な成績で卒業し、B.S.E.E (Bachelor of Science in Electrical Engineering)を取得しました。1985年から87年まで、ジョーはゼネラルエレクトリックに勤務し、その後ロースクールに進学しました。1988年、ジョーは米国国際貿易委員会の知的財産法の分野で働き始めました。1990年に、ジョーはニューヨーク大学法学部を卒業、1990年から91年にかけて、連邦巡回控訴裁判所の著名なアランD.ルーリーの代理人を務める栄誉を得ました。1991年、ジョーはUSPTO特許弁護士会とニューヨーク州弁護士会に入会しました。

その後、ジョーはUSPTO事務弁護士事務所で法務を行い、そこで50件の連邦巡回控訴裁判所の控訴を口頭で弁論し、88件の連邦巡回控訴裁判所の概要書を起草しました。彼はまた、66件の連邦巡回控訴裁判所の共同顧問を務めました。ジョーは、多数の訴訟を勝訴に導きました。いくつかの事例を紹介します。例えば、

In re Schreiber (1997 patent prosecution case cited innumerable times),

In re Watts (USPTO achieving its long-sought victory on the legal doctrine of waiver),

Zumbiel v. Kappos (a complicated *inter partes* patent reexamination appeal where Joe successfully argued both the patentability of certain claims and the unpatentability of other claims), and

Shimano v. Rea (a complex *inter partes* patent reexamination appeal where Joe successfully defended the PTAB as to both its patentability and unpatentability determinations which centered on claim construction and written description).

ジョーはまた、USPTOを含む約90の地方裁判所の民事訴訟に参画従事しました。さらに、ジョーは、Holmesv. Vornado (2002)、MedImmune v. Genentech (2007)、SAS Institute v. Iancu (2018) など、複数の最高裁判所の訴訟に取り組みました。USPTOで働いている間、ジョーは優秀キャリア賞と銅メダル賞を受賞しました。

2021年、ジョーはDBJGのパートナーになり、主にPTAB (Patent Trial and Appeal Board) 訴訟を中心に従事しております。30年間の連邦政府の経歴を深慮して、ジョーは、特許審査記録を分析して、PTABにUSPTO審査官の最終拒絶決定の上訴可能性を評価する非常に強い立場にあります。ジョーは、上訴概要を起草し、そのような上訴を説得力を持つ主張を展開することができます。ジョーは、PTAB訴訟のトピックについていくつかのプレゼンテーションを行いました。また、ジョーは他の分野の起訴事例も担当しております。

学歴

法務博士、ニューヨーク大学

学士、ノートルダム大学(電気工学)

関係団体と所属

ニューヨーク

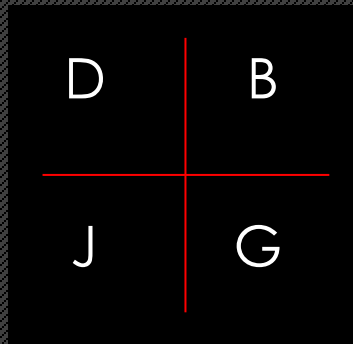
米国特許商標庁

連邦巡回控訴裁判所

米国最高裁判所

過去所属団体

USPTO、事務弁護士事務所



JAMES WILSON

Jim Wilsonは、Davidson Berquist Jackson & Gowdeyのパートナーで、特許および企業秘密訴訟、控訴審実務、および特許審査における彼の経験を利用して、複雑な知的財産問題に対応できます。Jimは1992年に米国特許商標庁(PTO)で知的財産のキャリアをスタートしました。

Jimは、スマートフォン、インターネットシステム、電気通信、コンピューターネットワーク、集積回路、半導体パッケージング、バッテリー、LED、およびレーザー技術を含む場合の電気およびコンピューターエンジニアリングのハードウェアおよびソフトウェアシステムを研究しました。

Jimは、米国国際貿易委員会の前、およびバージニア、デラウェア、カリフォルニア、イリノイの連邦地方裁判所での経験があり、

連邦巡回控訴裁判所および最高裁判所での訴訟の概要を作成しました。

学歴

法学博士、アメリカン大学

学士、ペンシルベニア州立大学(電気工学)

関係団体と所属

バージニア

コロンビア特別区

米国特許商標庁

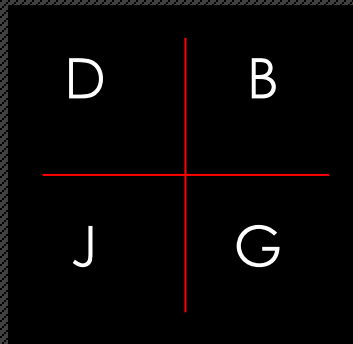
バージニア州東部地区連邦地方裁判所

連邦巡回控訴裁判所

合衆国最高裁判所

過去所属の団体

パートナー、Finnegan, Henderson, Farabow, Garrett and Dunner



ALAN WRIGHT

Alan Wrightは、特許法の専門家として25年以上の経験を持つパートナーです。Alanは1989年に特許のキャリアを開始し、米国特許商標庁でセラミック材料とプロセスの分野の審査官を務めました。登録弁理士であるAlanは、特許審査と調達の両方、および再審査などの付与後の手続きの経験があります。Alanはまた、連邦巡回控訴裁判所の名誉あるウィリアムC.ブライソンの事務職の前に、PTOの立法および国際問題局で弁護士顧問を務めました。過去20年間、AlanはワシントンD.C.地域の多くのトップ法律事務所で、特許訴訟とコンサルティングに焦点を当てて働いてきました。Alanはまた、電子セラミックと光ファイバー業界の両方でプロセスエンジニアとして何年も業界で働いていました。

Alanは、以下のようなさまざまな技術において、さまざまな連邦地方裁判所および米国国際貿易委員会での多数の訴訟において原告と被告の両方を代理してきました。

- 携帯電話技術・航空機エンジン
- 医薬品 (ANDA訴訟)
- ドラッグデリバリーシステム
- 化粧品・自動車部品の設計
- オンラインオークション
- 半導体製造装置および処理
- 日焼け止め配合
- オンラインゲーム
- ドメイン名

AlanはAmerican University Law Reviewのメンバーであり、米国連邦巡回控訴裁判所での進展に続く連邦巡回控訴裁判所版の編集者を務めました。

Alanは、バージニア州、テキサス州、コロラド州、デラウェア州、カリフォルニア州、およびイリノイ州の連邦地方裁判所で豊富な経験を持っています。

学歴

法務博士、アメリカン大学

学士、アルフレッド大学（セラミック工学）

関係団体と所属

バージニア

コロンビア特別区

ニューヨーク

米国特許商標庁

バージニア州東部地区、テキサス州東部地区、コロラド州の米国地方裁判所

連邦巡回控訴裁判所

過去所属の団体

パートナー、Finnegan, Henderson, Farabow, Garrett and Dunner



DAVIDSON BERQUIST JACKSON + GOWDEY
8300 Greensboro Drive, Suite 500, McLean, VA 22102
Phone: 571.765.7700
www.davidsonberquist.com